

自転車の製品事故防止のために

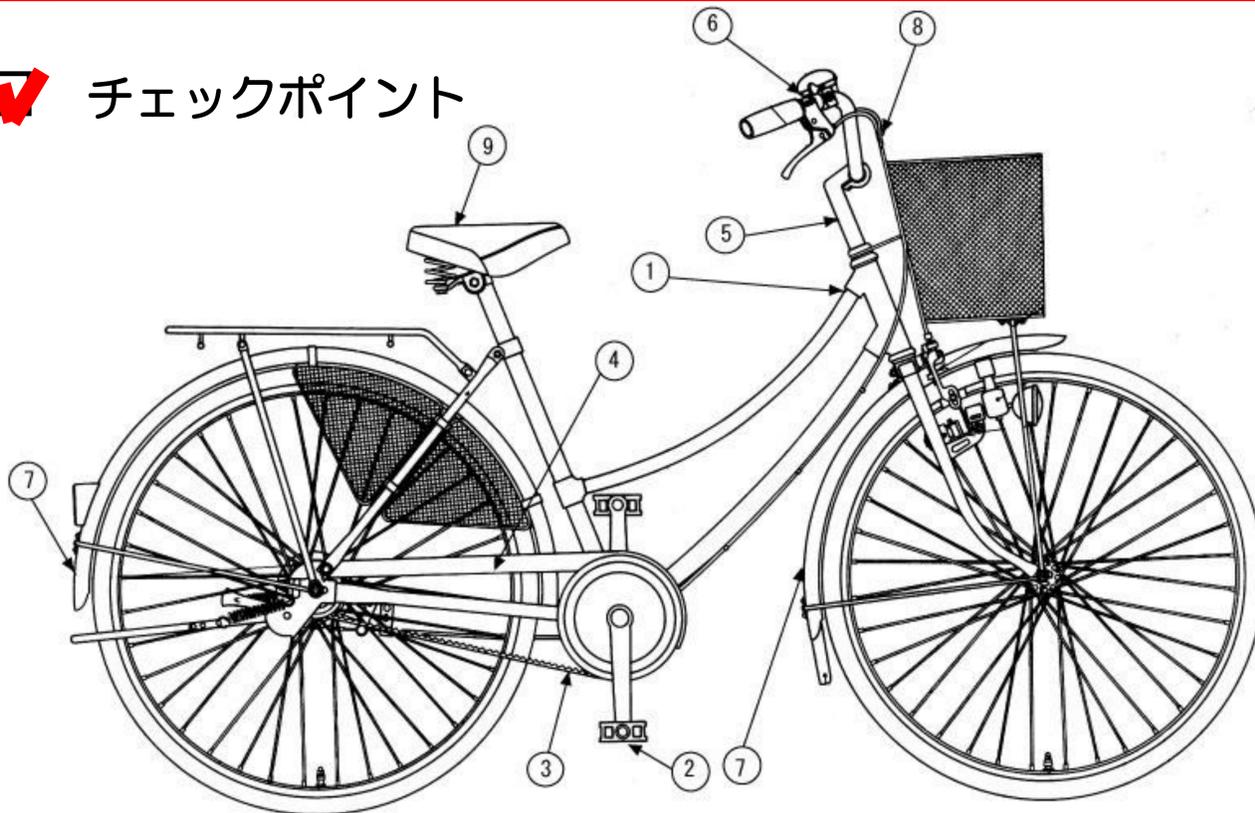
スポーク、前ホークに異物の巻き込み

自転車の製品事故で最も多く発生している事故は、スポークや前ホークへの異物の巻き込みによるものです。傘、ステッキ、釣り竿などを車体に差し込んだり、長く垂れ下がるものをつり下げたりしないでください。また、ハンドルに物をぶらさげたり、ダイナモを足で操作するなどして足がスポークに触れないようにしてください。



乗る前は必ず点検を行ってください

✓ チェックポイント



乗車する前に、自転車の各部位の点検を行ってください。異常を発見したら必ず販売店などで自転車安全整備士、自転車技士または同等の技能を有する者による点検を受けてください。特に自転車が衝突や転倒などによる衝撃を受けたときは、必ず点検を受けてください。

JIS D 9101(自転車用語)参考付図 自転車の各部の名称「(2)軽快車」より一部変更して引用

- フレーム(①)に亀裂や赤さびが発生していないか。
- ペダル(②)のガタツキはないか。
- 前輪・後輪のクイックリリースやハブナットにゆるみがないか。
- チェーン(③)にたるみがないか、摩耗していないか、さびついていないか。
チェーンケース(④)に接触していないか。
- ハンドルステム(⑤)のはめ合わせ限界標識が隠れており、かつ、確実に締まっているか。
- ブレーキレバー取り付け部(⑥)のネジ、ブレーキ取り付け金具、ブレーキブロックの取り付けにゆるみがないか。
- 泥よけ(⑦)の曲がりや外れがないか。
- ブレーキワイヤ(⑧)が伸びてブレーキレバーを握ったときハンドルバーに接触していないか、さび、外れがないか。
- サドル(⑨)のシートポストのはめ合わせ限界標識が隠れており、かつ、確実に締まっているか。

新しい自転車を購入したとき

自転車の使用を始めて1年未満の使用者に多くの製品事故が発生しています。新しい自転車を購入したら、自転車の操作に十分に慣れるまで注意して走行してください。購入して、1～2カ月のうちに購入したお店で初期点検を受けてください。また、取扱説明書を必ず読んでください。